資料-3

★流域治水プロジェクトにおいて“被害の軽減、早期復旧・復興のための対策”に位置付けられている項目

R4.2協議会時点

水防災意識社会再構築協議会での取組項目（今年度以降の取組案）

種別	項目	事項	No	項目	状況	実施機関（H28時点）							備考・確認事項等
						大隅河川国道	鹿児島県	気象台	鹿屋市	肝付町	東串良町		
ハード対策	－	洪水を安全に流すためのハード対策	1	流下能力対策（河道掘削等）	必要に応じて実施	○	○						
			2	浸透対策（シラス堤防の質的強化）	継続（未完）	○							
		危機管理型ハード対策	3	堤防川裏法尻の補強	必要に応じて実施	○							
		避難、水防、緊急排水等復旧に資する基盤等の整備	4	地域住民の迅速な避難の目安となる川の警告灯の検討・設置	必要に応じて実施	○							
			5	急激な水位上昇を把握するため、上流部に設置する水位計の検討・設置	必要に応じて実施	○						★	
			6	きめ細やかな河川情報を提供するためリスクの高い箇所への河川カメラもしくは簡易水位計などの検討・設置	必要に応じて実施	○	○				○	★	
			7	適切な水防活動等を目的とした、堤防拡幅の検討・整備	必要に応じて実施	○							
		施設の確実な機能確保	9	洪水時に適切な施設運用ができるよう、河川管理施設の定期的な状態監視及び老朽化対策の実施	必要に応じて実施	○	○						
			10	庁舎等の防災拠点施設の機能確保を図るための耐水化等の検討	継続（未完）	○	○		○	○			
ソフト対策	①地域住民が的確に避難行動を行えるように、迅速かつ的確でわかりやすい情報発信する取組	防災情報の確実な伝達	1	避難情報等を確実に届けるため戸別端末による防災行政無線の普及	継続（未完）				○	○	○	★	
			2	避難情報等を確実に届けるためコミュニティFMを活用したラジオ放送及びプッシュ型スマートフォン用アプリの整備、普及	完了	○			○	○		★	
		適切なタイミングでの情報発信	3	確実な避難を促すための、避難勧告の発令に着目したタイムラインの検証・見直し	継続（未完）	○	○	○	○	○	○	★	
		視覚的にわかりやすい情報発信	4	洪水の緊迫感を伝えるため、民放放送局と河川カメラのライブ映像提供協定の締結	完了	○							
			5	簡易水位計や河川カメラによるきめ細やかな河川情報の提供	必要に応じて実施	○	○				○		
			6	地域住民の迅速な避難の目安となる川の警告灯の検討	必要に応じて実施	○							
		浸水区域等のリスク情報の周知	7	地域住民の確実な避難を行うために想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域及び浸水シミュレーションの検討・公表	継続（未完）	○	○					★	
			8	地域住民の確実な避難を行うために、想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成・周知	継続（未完）	○	○		○	○	○	★	
			9	地域住民が安全に避難するために、浸水範囲内にある避難所及び避難経路の見直し検討	継続（未完）	○	○	○	○	○	○		
	②地域住民の水防災に関する危機意識を再構築するための、水防災学習・教育や自主防災組織支援等に関する取組	水防災を意識する社会の醸成のための支援	10	河川協力団体と連携した住民目線での啓発活動の実施	完了	○	○	○	○	○	○		
			11	教育機関等と連携した水防災学習・教育の実施	完了	○	○	○	○	○	○		
			12	地域住民が安全に避難できるよう、マイハザードマップ検討・作成の支援	継続（未完）	○	○	○	○		○	★	
		水防災を意識する社会の醸成のための支援	13	地域住民が安全に避難できるよう、地区防災計画の推進・支援	継続（未完）	○	○	○	○	○		★	
			14	水防災をテーマとしたパネル展示等の啓発活動の実施	完了	○	○	○	○	○	○		
			15	浸水実績をわかりやすく周知するために過去の洪水による浸水深を地域に表示する「まるごとまちごとハザードマップ」の実施・支援	継続（未完）	○	○	○	○	○	○	★	
		自主防災組織等への支援	16	自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー育成のための講習会等の実施	完了	○			○	○	○		
			17	災害時に迅速な避難が出来るよう、地域の防災リーダー育成や自主防災組織の育成・強化・支援	完了	○	○	○	○	○	○		
	③地域住民が安心して暮らせるよう、ハード対策や確実な水防災活動が行える訓練などのソフト対策に関する取組	関係機関及び地域住民と実施する訓練等	18	防災担当職員の防災技術力向上と流域内の関係機関の連携強化を目的とした防災訓練や勉強会の実施	完了	○	○	○	○	○	○		
			19	水防技術伝承のための水防団（消防団）員の防災訓練等の実施	完了	○	○		○	○	○		
			20	災害時に迅速な避難誘導が出来るよう、関係機関と自主防災組織等が連携した要配慮者等の避難訓練の実施	継続（未完）	○			○	○	○	★	
			21	浸水想定区域内にある病院や地元企業に対して、被害が最小となるための自主防災力向上のための支援	継続（未完）	○			○	○	○	★	
		確実な水防活動への支援	22	適切な水防団（消防団）人員の確保	完了				○	○	○		
			23	水防協力協定等企業（地元建設業等）と連携した水防活動の実施	完了		○		○	○	○		
			24	適切な水防活動を行うための、保有水防資機材の定期的な点検確認と情報共有	完了	○	○		○	○	○		
			25	堤防の変状等河川巡視結果をリアルタイムで共有するためのシステム検討	完了	○			○	○	○		
			26	大規模浸水被害発生時に水防活動等の拠点となる施設の検討	継続（未完）	○			○	○	○		
		大規模災害時における排水施設の適切な運用	27	緊急時に早急かつ的確な対応を行うため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の検討	完了	○			○	○	○		

※“完了”と記載した取組については、今後も継続して実施していくべきではあるが、概ねの方向性等については確認済みであり、今後は本協議会の対象外とする取組である。

水防災意識社会再構築協議会での取組項目（令和6年度の取組状況）

種別	項目	事項	No	項目	状況	取組内容					
						大隅 河川国道	鹿児島県	気象台	鹿屋市	肝付町	東串良町
ハード対策	－	洪水を安全に流すためのハード対策	1	流下能力対策（河道掘削等）	必要に応じて実施	新川地区の流下能力向上（超過洪水対応）と内水被害軽減対策のための河道拡幅	河道掘削による河川断面の確保				
			2	浸透対策（シラス堤防の質的強化）	継続（未完）	田崎地区　継続					
		危機管理型ハード対策	3	堤防川裏法尻の補強	必要に応じて実施	－					
		避難、水防、緊急排水等復旧に資する基盤等の整備	4	地域住民の迅速な避難の目安となる川の警告灯の検討・設置	必要に応じて実施	－					
			5	急激な水位上昇を把握するため、上流部に設置する水位計の検討・設置	必要に応じて実施	－					
			6	きめ細やかな河川情報を提供するためリスクの高い箇所への河川カメラもしくは簡易水位計などの検討・設置	必要に応じて実施	危機管理型水位計の移設を実施 （高山川　志賀樋管 → 高山川左岸5k000）	－				－
			7	適切な水防活動等を目的とした、堤防拡幅の検討・整備	必要に応じて実施	堤防天端の緊急道路 としての利用検討					
		施設の確実な機能確保	9	洪水時に適切な施設運用ができるよう、河川管理施設の定期的な状態監視及び老朽化対策の実施	必要に応じて実施	定期的な各種点検を実施	定期的な現場点検 県管理区間の巡視点検を実施				
			10	庁舎等の防災拠点施設の機能確保を図るための耐水化等の検討	継続（未完）	－	－		－	引き続き検討	
ソフト対策	①地域住民が的確に避難行動を行えるように、迅速かつ的確でわかりやすい情報発信する取組	防災情報の確実な伝達	1	避難情報等を確実に届けるため戸別端末による防災行政無線の普及	継続（未完）				転入者等へ戸別受信機 または防災ラジオの配付	完了	転入者等へ戸別受信機の配付
		適切なタイミングでの情報発信	3	確実な避難を促すための、避難指示の発令に着目したタイムラインの検証・見直し	継続（未完）	流域タイムラインの検証・見直し	関係機関との災害時想定訓練	・防災気象情報の適切な発表	河川水位等の 情報収集による避難発令	新たな防災マップの作成配布 （令和6年度完了）	防災マップの更新 マイタイムライン作成ツールを追加 （令和5年度中に完了予定）
		視覚的にわかりやすい情報発信	5	簡易水位計や河川カメラによるきめ細やかな河川情報の提供	必要に応じて実施	川の防災情報等 インターネット上での情報公開	河川砂防情報システムによる 河川情報等の提供を実施				防災マップの更新 マイタイムライン作成ツールを追加 （令和5年度中に完了予定）
			6	地域住民の迅速な避難の目安となる川の警告灯の検討	必要に応じて実施	－					
			28	きめ細やかな防災気象情報の提供	継続			気象庁HP内のキキクル（危険度分布）で河川ごとに6時間先までの洪水災害の危険度を色分けして公開			
		浸水区域等のリスク情報の周知	7	地域住民の確実な避難を行うために想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域及び浸水シミュレーションの検討・公表	継続（未完）	内水外一体型水害リスクマップを作成し、令和7年度に公表予定	市町村への情報提供 浸水想定区域図作成に着手（R7.2公表予定）（大隅局）				
			8	地域住民の確実な避難を行うために、想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成・周知	継続（未完）	－	市町村への情報提供		転入者等へL2に対応した防災マップの増刷・配布 自主防災組織の防災訓練や鹿屋市地域防災リーダー養成講座等での防災マップ活用講座の実施	新たな防災マップの作成配布 （令和6年度完了）	防災マップの更新 マイタイムライン作成ツールを追加 （令和5年度中に完了予定）
			9	地域住民が安全に避難するために、浸水範囲内にある避難所及び避難経路の見直し検討	継続（未完）	－	市町村への情報提供	関係機関と連携して支援予定	－	新たな防災マップの作成配布 （令和6年度完了）	防災マップの更新 マイタイムライン作成ツールを追加 （令和5年度中に完了予定）
	②地域住民の水防災に関する危機意識を再構築するための、水防災学習・教育や自主防災組織支援等に関する取組	水防災を意識する社会の醸成のための支援	12	地域住民が安全に避難できるよう、マイハザードマップ検討・作成の支援	継続（未完）	－	市町村への情報提供	関係機関と連携して支援予定	防災出前講座による マイタイムラインの作成推進 改定版鹿屋市マイタイムラインの作成 （令和7年度に配布予定）	新たな防災マップの作成配布 マイタイムラインページ有 （令和6年度完了）	防災マップの更新 マイタイムライン作成ツールを追加 （令和5年度中に完了予定）
			13	地域住民が安全に避難できるよう、地区防災計画及び個別避難計画の推進・支援	継続（未完）	－	市町村への情報提供 引き続き計画作成を促進	関係機関と連携して支援予定	－	令和5年度に1地区完了、残1地区について引き続き支援実施	
			15	浸水実績をわかりやすく周知するために過去の洪水による浸水深を地域に表示する「まるごとまちごとハザードマップ」の実施・支援	継続（未完）	－	水害リスクマップによる 過去の浸水実績を提供	関係機関と連携して支援予定	－	引き続き検討	－
	③地域住民が安心して暮らせるよう、ハード対策や確実な水防災活動が行える訓練などのソフト対策に関する取組	関係機関及び地域住民と実施する訓練等	20	災害時に迅速な避難誘導が出来るよう、関係機関と自主防災組織等が連携した要配慮者等の避難訓練の実施	継続（未完）	－		関係機関と連携して支援予定（気象シナリオの提供、防災講話、ワークショップ等）	－	引き続き検討	東串良町総合防災訓練の実施 （令和5年5月21日）
			21	浸水想定区域内にある病院や地元企業に対して、被害が最小となるための自主防災力向上のための支援	継続（未完）	－		関係機関と連携して支援予定（気象シナリオの提供、防災講話、ワークショップ等）	－	引き続き検討	－
		確実な水防活動への支援	26	大規模浸水被害発生時に水防活動等の拠点となる施設の検討	継続（未完）	－			大姶良防災倉庫の改装 （R4.3完成）	引き続き検討	防災庁舎（災害対策本部用）の設置